



おにぎり通信

2010年10月16日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

今日は、10月16日ですが、前日の10月15日は「きのこの日」だそうです。というわけで、今回はキノコのよもやま話です。

人間は大昔から、キノコを食べていました。今から5000年以上前の遺跡からも、キノコの形をした器が出てきています。

皆さんご存じのキノコとしては、しめじ、エノキタケ、マイタケ、なめこ、マッシュルームなどがあります。他に、高級なものとして、マツタケ、トリュフが挙げられます。健康食品で有名なアガリクスというキノコもあります。

マツタケは、日本では超高級品ですが、世界の国の中には、ちょっと山に入るだけで取れるので、市場で山積みになって、安く売られているところもあるそうです。うらやましいですね。

そういえば、キノコと言えば、怖いのが、食中毒を起こす、毒キノコです。日比谷公園に生えているキノコは100%毒キノコですので、食べないでくださいね。

(参考:wikipedia)

☆10月5日 福祉行動報告 1名参加されました。
Aさん 42才 生活保護を申請されました。



次回の福祉行動:10月18日(月)、東京駅丸の内北口タクシー乗り場前に、朝8時半までに集合です。

病気やケガの治療を希望される方や、体を休めたい方と一緒に福祉事務所まで、ボランティアが同行いたします。福祉行動は原則として毎週月曜日に行います。福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自身の希望をご自身の言葉でハッキリと福祉事務所に伝えることにより成り立ちます。

もより ふくしじむしょ
最寄の福祉事務所

ちゅうおうくふくしじむしょ ちゅうおうくつきじ ちゅうおうくやくしよ かい
中央区福祉事務所・・・中央区築地 1-1-1中央区役所4階

ちよだくふくしじむしょ ちよだくくだんみなみ かい
千代田区福祉事務所・・・千代田区九段南1-2-1 3階

<パーソナル・サポート制度>

新しい支援である、パーソナル・サポート制度が、11月よりスタートします。

パーソナル・サポートとは、従来、一人ひとりの必要に応じた生活再建を考えていくのが特徴です。今まで、就労支援と福祉政策が別々であったために行われていた、窓口のたらいまわしがなくなることを目指しています。

この制度では、都道府県などが設置する「求職者総合支援センター」を拠点に、「パーソナル・サポーター(PS)」という専門家が、ワンツーマンでサポートをします。この事業は、自治体がNPO や社会福祉法人に委託して行います。

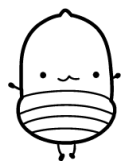
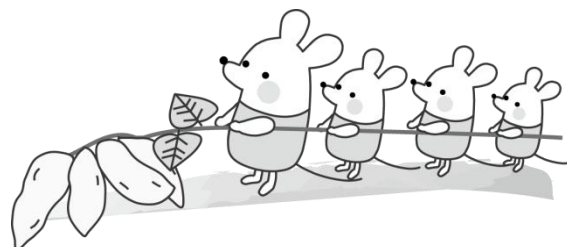
この制度の対象となる人は、失業中で、借金や病気、家族関係の問題など複数の理由で、自立した生活を送れない人です。

例えば、家族と暮らせない事情があり、失業中で、精神状態も良くなく、借金も抱えている、といった場合、パーソナル・サポーターが相談を受けて支援方法を決め、生活保護申請へ同行、病院へ同行、アパート探しの手伝い、支援施設の紹介、ハローワークとの連携などを行います。

今年度実施する自治体は、北海道釧路市、神奈川県横浜市、京都府、福岡県福岡市、沖縄県の5つです。横浜市は問題を抱える若者の支援が中心、福岡市は路上生活者の支援が中心です。

来年度は、上の5つの自治体に加えて、NPOなど合計20団体程度で実施される予定です。2012年度には制度化し、全ての都道府県での実施を目指しています。

(朝日新聞社 HP、首相官邸 HP より)



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりはかならずその日のうちにお早めにお召し上がり下さい。

よつや なかま れんらくさき いわた
四ツ谷おにぎり仲間 連絡先:090-4959-0652(岩田)